

# 平成 26 年度庄原市キャリアデザイン研修会

平成 26 年 8 月 28 日 庄原市ふれあいセンター

学校を取り巻く社会状況が変化する中で、庄原市教職員は 50 代が半数以上という年齢構成を踏まえ、教職員の人材育成をより一層意図的・計画的に進めていく必要があります。庄原市教育委員会では、平成 24 年度から本研修会を開催し、本年度は、中堅層（平成 26 年度末時点で教職経験 12 年から 23 年までの教職員）を対象に、実施しました。

目的：年齢層に応じた役割期待を明確にするとともに、教職員自らが目標を掲げ主体的に能力開発に取り組むなどにより、教職員一人一人の能力と意欲の向上を図り、学校の教育力を高める人材を育成する。

内容：講話「年齢層に応じた役割期待」

パネルディスカッション 3 名のパネラー（主幹教諭・指導教諭・教諭）から中堅層へ

「これまでの経験の中で伝えたいこと」「これからについて考えていること」

グループ協議「授業力・専門力の向上について」

パネルディスカッションでは  
職能成長を図る研修の必要性  
学ぶ気持ちを持ち続けること  
学校経営参画意識  
職場環境づくりや人間関係づくり  
等、これまでの豊富な経験からの助言により、  
将来展望をもち、意欲の向上につながりました。

○自分が自信をもって取り組んでいることは何かを明確にもつべきだと考えた。  
○「人を育てながら自分も育つ」という言葉が心に残った。  
○3 名の先生方がさらに学び続け、成長しようとしている姿がとても印象的だった。 【受講者から】



パネルディスカッション



講話



グループ協議

○「何のために」「なぜ」ということを常に問いながら、主体的に動けるよう考えていきたい。  
○5 年後、10 年後を見据えて、自分から求めて学んでいきたい。  
【受講者から】

○導入の工夫、板書計画、発問、終末 10 分間の充実などもっとやらなければならない時間となった。  
○子供たちに力を付けるために教材研究をもっと工夫したいと思った。  
○安心して過ごせる環境づくり、子供たちのニーズに合った対応など、養護教諭としての専門性を高めていきたい。 【受講者から】